

簿記の基礎

(1) 簿記とは？

① 初めて聞く言葉、簿記とは何？

「簿記」とは、「帳簿記入」の略のこと、つまり帳簿にいろいろと記載していくことです。

② 簿記の目的

最初に会社を設立するときに用意したお金が、いろいろな活動をしていくうちに減ったり増えたりしていきます。この増減を記載しておき、一体現在いくら残っているのか（**財政状態**）、またどれくらい儲けが出ているのか（**経営成績**）を明らかにすることが簿記の目的です。

この記録があることで、財政状態を明らかにする表として「**貸借対照表**」が、経営成績を明らかにする表として「**損益計算書**」が出来上がります。

そして、この貸借対照表と損益計算書を合わせて「**財務諸表**」と言います。

(2) 貸借対照表ってどんな表？

① 貸借対照表とは？

貸借対照表

株式会社 AA

(単位:円)

平成 21 年 3 月 31 日現在

科目(借方)	金額	科目(貸方)	金額
現金	1,000	借入金	1,000
商品	500	資本金	1,000
未収入金	500		
資産合計	2,000	負債・純資産 合計	2,000

まず、表の左上に会社名が入り、右上にお金の単位を記載します。そして、真ん中に帳簿の数字を集計した日を記載します。会社はその集計日（決算日）を決めて、その日の貸借対照表を作成し、財政状態を明らかにしなければなりません。

例題の株式会社 AA は、決算日が 3/31 なので 3 月決算と呼ばれます。

② 借方（かりかた）と貸方（かしかた）

次に表の BOX 左側と BOX 右側に注目してください。

この BOX 左側を「借方」と言い、BOX 右側を「貸方」と言います。覚え方はかりかたの「り」が左側に曲がっているので BOX 左側、かしかたの「し」が右側に曲がっているので BOX 右側と覚えます。貸借対照表は貸借の順番でも、仕訳は借貸の順なんです！ややこしい話ですが、最後は慣れてしまうものなのです。

③ BOX 左側（借方）には資産を！

BOX に入れるものは、借方と貸方で種類が決まっています。

BOX 左側の借方には、「資産」を計上します。資産とは、「自社の財産」のことです。自社の金庫にある現金、株券や社用車などです。金庫もそうですね。誰のものでもなく会社のものです。

④ BOX 右側（貸方）には負債と資本を！

BOX 右側には、「負債」と「資本」を計上します。負債とは、「後で支払って返さなければならないもの」を言い、借金や未払金などを言います。資本とは、「返さなくて良いお金を出資してもらった」とき、例えば自分でレストランを始めるときに、自分の通帳から 500 万円を会社の設立資金として会社に出資するときの 500 万円を資本と言います。

⑤ 科目とは？

BOX の中に科目という文字がありますが、これは「勘定科目」と言い、どの会社も同じ科目を使用しています。紙幣や硬貨のことを「現金」、お店の売り物は「商品」、ビルや一軒家などは「建物」、借金は「借入金」と全て決まった勘定

科目に分類されます。

⑥ 貸借対照表の検算

自分が作成した貸借対照表があっているかどうかは、借方（左側）と貸方（右側）の合計が一致しているかどうかで確認できます。上記の貸借対照表では、両側とも 2,000 円で一致しています。

(3) 損益計算書ってどんな表？

① 損益計算書とは？

損益計算書

株式会社 AA

(単位:円)

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日現在

科目(借方)	金額	科目(貸方)	金額
仕入	700	売上	1,000
給料	100	受取利息	200
水道光熱費	20		
当期純利益	380		
費用合計	1,200	収益合計	1,200

例題の株式会社 AA は 3 月決算なので、集計期間は決算日までの 1 年間になりますので、4/1～翌年 3/31 になります。この期間を「**会計期間（事業年度）**」と言い、この会計期間でどれくらいの儲けが出たのか（経営成績）をこの損益計算書表で明らかにします。

② 貸方（右側 BOX）には収益を！

「**収益**」の一番の柱は売上で、「**売上**」とは、例えばレストランでハンバーグを売ればお客様からいただくハンバーグ代のこと、洋服屋さんであれば販売した

洋服代のことです。その他に銀行の普通預金には利息が付きますので、その収入は「受取利息」として認識することになります。

③ 借方（左側 BOX）にはまず費用で、差額で利益計算

「費用」とは、売上を取るために必要なコストのことで、上記の例で言えば、まず「仕入」としてハンバーグを作るためのお肉・卵などを購入し、ハンバーグを作るコックさんの「給料」があり、お肉を焼いたり煮たりするためのガス・水道代などの「水道光熱費」があります。

そして、その収益から費用を差し引いたものが「利益」（儲け）になります。

上記の例題では、1年間の収益は売上 1,000 円、受取利息 200 円の合計 1,200 円あり、それを稼ぐための費用が仕入 700 円、給料 100 円、水道光熱費 20 円の合計 820 円でした。

従いまして、利益は $1,200 \text{ 円} - 820 \text{ 円} = 380 \text{ 円}$ になります。

④ 貸借対照表と損益計算書の関係

最初に上記（2）①の貸借対照表を再登場させます。

平成 21 年 3 月 31 日時点です。

貸借対照表

株式会社 AA

（単位：円）

平成 21 年 3 月 31 日現在

科目(借方)	金額	科目(貸方)	金額
現金	1,000	借入金	1,000
商品	500	資本金	1,000
未収入金	500		
資産合計	2,000	負債・純資産 合計	2,000

次に（3）②の損益計算書は下記の通りです。上の貸借対照表の日付（決算日）

の翌日平成 21 年 4 月 1 日から次の決算日である平成 22 年 3 月 31 日までの期間
です。

損益計算書

株式会社 AA (単位:円)

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日現在

科目(借方)	金額	科目(貸方)	金額
仕入	700	売上	1,000
給料	100	受取利息	200
水道光熱費	20		
当期純利益	380		
費用合計	1,200	収益合計	1,200

つまりこの会社は 1 年間で 380 円の利益を出しました。そして再び決算日
(3/31) がやってきたので、貸借対照表を作成します。

貸借対照表

株式会社 AA (単位:円)

平成 22 年 3 月 31 日現在

科目(借方)	金額	科目(貸方)	金額
現金	1,380	借入金	1,000
商品	500	資本金	1,000
未収入金	500	当期純利益	380
資産合計	2,380	負債・純資産 合計	2,380

前期(平成 21 年 3 月 31 日)と当期(平成 22 年 3 月 31 日)の 2 つの貸借対
照表を比べると変わった点があるのに気付くと思います。

そうです、1 年間の利益(儲け)が貸借対照表に記載されています。

380 円の利益が出て、現金がその分増えました。そしてまた次の 1 年間（会計期間）がスタートしていきます。

（４）仕訳とは？

① 仕訳って何？

「仕訳（しわけ）」とは、取引を簿記的に表現する書き方のことです。簿記は、仕訳に始まり仕訳で終わると言われているくらい重要なものです。また、仕訳を帳簿に記載するときは、仕訳を切ると言います。そして、最初は理論付けよりただ仕訳を切る量を増やすこと！どんどん仕訳を切って体で覚えるのが早道です。

（例題 1）

ハンバーグ代金 800 円を現金で受け取った。

仕訳（借）現金 800 （貸）売上 800

（解説）現金は資産ですから、その資産が増えたから借方に記入して、

その増えた原因は売上（収益）ですから貸方に記入します。

（ポイント）仕訳は、貸借対照表の BOX と損益計算書の BOX を思い浮かべて 5 つの要素（資産・負債・資本・収益・費用）の組み合わせで必ず完結します。

（例題 2）

ハンバーグ用のお肉 560 円を現金で買った

仕訳（借）仕入 560 （貸）現金 560

（解説）資産である現金が減りましたから借方の逆である貸方に記入します。

その減った原因は仕入（費用）ですから借方に記入します。

（ポイント）仕訳の組み合わせは、5 つの要素の組み合わせですから、

今回は費用（増）と資産（減）の組み合わせでした。

(例題3)

配達用の車を現金 300,000 円で購入した。

仕訳 (借) 車両運搬具 300,000 (貸) 現金 300,000

(解説) 資産である現金が減りましたから借方の逆である貸方に記入します。その減った原因は車 (資産) ですから借方に記入します。

(ポイント) 5つの要素の組み合わせでも同じ要素で借方貸方が埋まることもあります。今回は、資産 (増) と資産 (減) でした。

② 5つの要素のまとめ

借方で増加を表すチーム → 資産 (貸借対照表) と費用 (損益計算書)

貸方で増加を表すチーム → 費用・資本 (貸借対照表) と収益 (損益計算書)

③ 仕訳のルール

仕訳は、借方と貸方で金額が必ず一致することになります。もし一致しなければ、仕訳の中に、5つの要素のうちの何か1つが不足していることになります。

Second CFO 税理士事務所

www.second-cfo.com